



講演
テーマ

津波火災の定量的ハザード評価 —南海トラフ地震への備えを再考する—

津波に起因して発生する火災を「津波火災」と言います。2011年の東日本大震災では、津波の浸水域で100件を超える火災が発生し、一部が大規模な延焼火災に発展しました。特に、津波火災が津波避難ビルや非浸水市街地、林野などに延焼した事例が報告されており、津波火災がもたらす人的被害や二次火災の危険性が明確になりました。南海トラフ地震津波など、将来の巨大津波に対して適切に備えるためには、津波火災への対策も重要です。東日本大震災における津波火災の被害実態や発生・延焼拡大のメカニズムを解説するとともに、津波火災の危険性を定量的に評価するための予測モデルの開発とその応用に関する研究を紹介し、津波火災への備えを考えます。

定員 **200名(予定)** 感染状況により、定員人数の変更もございます。

日時 令和**4**年**9**月**9**日(金)
14時00分～16時00分
(13時15分より受付)

聴講料
無料
(全席自由)

場所 **建設交流館 8階 グリーンホール**
大阪市西区立売堀2-1-2

申込方法 8月8日(月)より、大阪建築防災センターHP内「令和4年度秋季建築物防災講演会」申込フォームにて、申込受付いたします。

<https://www.okbc.or.jp>

講演会詳細・申込みはこちらから ➡

※受付番号がない方は、ご入場はできませんのでご注意ください。



お問合せ (一財)大阪建築防災センター 企画耐震部
☎06-6942-0190 ✉info2@okbc.or.jp



講師 **西野 智研氏** (にし の とも あき)

京都大学 防災研究所
社会防災研究部門 准教授

略歴：京都大学大学院博士後期課程修了。博士(工学)。国土交通省所管の国立研究開発法人で建築・都市の防火研究に従事した後、2017年に京都大学防災研究所に着任。専門は建築火災安全工学。特に、巨大地震や巨大津波などの自然災害に誘発される大規模火災(地震火災や津波火災)の性状と火災リスクの制御に関する研究を行っている。問題解決を指向した基礎的および応用的研究を通して、災害リスク軽減や社会のレジリエンス向上に貢献する。日本火災学会内田奨励賞、科学技術分野の文部科学大臣表彰若手科学者賞などを受賞。



■大阪メトロ四つ橋線・中央線「本町駅」②出口より徒歩5分
■大阪メトロ千日前線・中央線「阿波座駅」②出口より徒歩5分
会場には駐車場、駐輪場はございませんので、公共交通機関をご利用下さい。

主催 一般財団法人 **大阪建築防災センター**

後援 大阪府 大阪市 豊中市 堺市 東大阪市 吹田市 高槻市 守口市 枚方市 八尾市 寝屋川市 茨木市 岸和田市 箕面市 門真市 池田市 和泉市 羽曳野市

協賛 建築物防災推進協議会